



Share Rotary— Serve People

みんなにロータリーを
みんなに奉仕を



会長 内山喜一 幹事 斎藤 隆 副会長・クラブ奉仕 佐藤順治 職業奉仕 石川寿男 社会奉仕 佐藤 衛 国際奉仕 三井 健 青少年奉仕 小池繁治

出席報告：会員 74名 出席 56名 出席率 75.68% 前回出席率 70.83% 修正出席 64名 確定出席 88.89%

会 長 報 告

内山喜一君

- 鶴岡電報電話局長 佐藤 英明 さんの委員会所属S.A.A.に決定。
- 第5回クラブ協議会3月6日を、4月16日の台中港区R.C.との姉妹クラブとの統盟式と合併して催したい。尚、台中港区R.C.から電話で、統盟式並びに当クラブ創立25周年に参加者約40名来日。
- ロータリー財団奨学生として推薦があった鷺田良一さん(本町3丁目14-25、東海大学教学部卒)来る4月7日審査会で決定。

幹 事 報 告

斎藤 隆君

1. 会報到着 立川ロータリークラブ
2. 日中友好のしんぶん「日本と中国」
2月25日号到着
3. 国際ロータリー第253地区インターシティミーティングご案内
期 日 4月14日(土)
時 間 10:30～15:20
場 所 山形グランドホテル
申込メ切 3月15日(木) 事務局まで

会 員 ス ピ ー チ

雛人形の発生と変遷について

市川 輝 雄 君



日本人は、日本のおかれている恵まれた地理的風土の関係上、四季それぞれの季節感を非常に尊重します。暗い寒い冬が終り、明るく暖かい春の訪ずれを桃の花と共に雛を飾って喜び祝うのです。

女兒の初節句を祝って3月3日を前後して国中のあちこちの家庭で繰り展げられる雛まつりは、子をいづくしむ親としての心情の他に、日本人の持つ心根の優しさが感ぜられますし、子供の頃のなつかしい記憶も引出されて、いっとき童心にかえる思いが致します。

雛人形の「雛」の語源をご存じでしょうか。辞典には鳥の雛のごとく小さい人形の意とあります。古くはひひなあるいはひひなと云いました。生れたばかりの鳥の子がヒヒと鳴く。即ちヒヒとヒヒのつまったのが語源といひます。

源氏物語には、若い頃の源氏が幼い紫上を相手にして「ひひな遊びし給ふ」一節があります。一種の人形遊び、ままごと遊びであり、今の雛祭りの原型がそこに感じられます。

ところで「にんぎょう」と呼ばれるようになったのは、さらに時代を経た中世からのことで、千年以上の昔は「ひとがた」と言い、人間の形をしたものを紙や草で作し、信仰やまじないの用具としました。

三月上巳(三月初めの巳の日)には、この「ひとがた」で自分の体をなでて、身のけがれや禍いをはらい、それに移し代えて川や海に流し捨てたのです。現在でも山陰地方などでは、雛祭りがすむと紙雛を川に流して女の子達の安泰を祈る習慣があります。

又、人形の源流のひとつとして「天児」(あまがつ)と「這子」(ほうこ)があります。「あまがつ」は30cmほどの竹一本を横にして両手にし、二本束ねて胴をつくります。それに丸い頭をのせ衣裳を着せ平安時代、貴族のあいだで用いられました。源氏物語のひひな遊びもこれの類と思います。「ほうこ」は這い這いする幼児にかたどった縫いぐるみ人形で江戸時代に入ると庶民の間に幼児の抜い信仰の人形として普及しました。これは流し捨てるものでなく子供の身近なところにおいて禍いをこれに移し負わせるためのものでした。

時代と共にだんだん雛人形化してゆくにしがたい室内に飾るよう変って、作り方も手を加え精巧な作品に変身してゆきます。

室町時代になると、信仰用具からしだいに愛玩・鑑賞用に発達して3月3日の行事に定着したことが当時の公卿日記などに残されています。

江戸時代に入り、国内の長い戦乱が静まって平和な日々がくると、雛人形としての本格的な製作が始まってきます。民間でも3月3日に桃酒を酌み、草餅を食う習慣が年中行事化し、やがて雛まつりの遊びが芽生えてきます。

しかし、いづれにしても江戸期の雛人形は室町時

庄内空港の建設を推進しましょう

代の御所風俗を模してつくられてきました。(衣冠束帯・直衣・狩衣姿の男雛、唐衣裳・小桂(こうちぎ)或は白小袖緋袴の女雛)

雛祭りには最初女の子の誕生と関係なかったのですが、江戸中期より女子の初節句を祝うものとなり、娘が結婚する時には嫁入道具に雛を加え、嫁入後の初節句に雛祭りを行う風習が生まれました。

初期には雛段の様式はみられず、毛せんなどの上に雛を並べていましたが、元禄頃より段に飾りつけるようになりました。町人が社会経済の実権を握るようになると、雛は年々豪華なものになり、幕府からはしばしば取締り令が発せられて、身分不相応なぜいたくを禁じられましたが、仲々改められませんでした。

江戸時代に華かな行事として繰り返された雛まつりも、明治の文明開化時代を迎えると、旧習一新の明治政府の方針で「五節句廃止」令という激動をうけ、節句の行事も一時衰えて、江戸の雛市も昔の夢となるのですが、やがて欧米主義の反動として古き

よき時代をなつかしむ風潮が台頭し、再び節句行事が盛んになってきました。

先日NHKテレビの番組で「日本の面影」と題してラフカデオ・ハーン(小泉八雲)が、いかにして日本に魅せられ、心の故郷を求めて明治をさまよったか、その第一回が放映されていましたが、ニューオリンズの万国博で日本のさまざまな生活用品、とりわけ雛人形や小道具に伝説の国日本への憧れを強く感ずる場面が印象的でした。

どこの国にもさまざまな人形がありますが、男女一対の人形を「お雛様」と敬称で呼んで、これを段に飾り、女の子達の健康と幸多き将来を祈る。こんなほほえましい伝統的な人形まつりを今も国民行事として持ち合せているのは、広い世界に日本だけです。

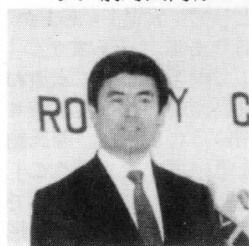
先程のラフカデオ・ハーンを持ち出すまでもなく心の故郷、日本の良さというものは、ささやかな雛まつりの中にもひっそりと息づいていることを再確認してもらいたいと思います。

新会員紹介

庄司嘉男君

鶴岡電報電話局前局長佐々木さんの後任として参りました佐藤英明さんです。出身は青森県で、昭和22年6月の誕生です。昭和45年東北大学経済学部を卒業、本社の職員局調査課の課長補佐ということでございます。

自宅は前の局長さんと同じ家中新町1-35。子供は長男巖宏(みちひろ)君、長女恭美子(くみこ)さん趣味は柔道三段、野球、ゴルフ、釣、絵画鑑賞でございます。前局長同様によくお願い申し上げます。



ご挨拶

唯今ご紹介いただきました鶴岡電報電話局長の佐藤でございます。未熟な者ですが、当クラブの奉仕の精神で、精一杯頑張りますので、よろしくお願い申し上げます。

委員会報告

青少年委員会

第5回ライラ研修会が5月8日9日開催されますが、出席はどなたでも結構ですが、青少年委員会ではからはりたいと思います。(青少年委員会一市川輝雄君・若生恒吉君・佐藤友吉君・山口篤之助君三井賢二君・佐々木喆彦君・御橋義諦君)

親睦活動委員会

会員誕生 石塚敏彦君・小松広穂君
御橋義諦君・中野清吾君
佐藤昇君・佐藤忠君
鈴木茂男君・手塚林治君
若生恒吉君

奥様誕生

早坂保江様・石川徳江様
板垣地永子(広志)様・石塚綾子様
小松陽子(三雄)様・嶺岸豊子様
松田照子(貞夫)様・高橋多恵子様
佐藤晴子(衛)様・高田紀子様

出席委員会

年間皆出席	12年間皆出席	小池繁治君
	11	板垣俊次君
	8	迎田稔君
	6	川村徳男君

2月100%出席 51名

阿蘇・張・藤川・福島・早坂・布施・飯白・石川・石黒・板垣(俊)・市川・川村・小池・小松(広)・小松(三)・風間・加藤・御橋・三井(徹)・三井(賢)・三井(健)・嶺岸・迎田・森田・松田(貞)・松田(士)・中江・中野・斎藤(隆)・佐藤(昇)・佐藤(忠)・佐藤(順)・佐藤(衛)・佐藤(友)・新穂・菅原・鈴木(善)・鈴木(弥)・庄司・鈴木(茂)・佐々木(喆)・斎藤(昭)・白坂・丹下・手塚(林)・富樫・内山・渡部・若生・山口・吉野

スマイル

佐藤忠君 親睦マージャン大会優勝して
庄司嘉男君 〃 準優勝して
川村徳男君 〃 1位優勝して
張紹洵君 上野駅で1円を拾い、財団に寄付
御橋義諦君 3月1日210名の生徒無事卒業して
加藤賢君 家政高校卒業アルバム作成して

ビジター

見附R.C. 山田富雄君
温海R.C. 佐藤五右エ門君・阿部一太君
鶴岡西R.C. 児玉光弥君

(今週の担当者 嶺岸光吉)